

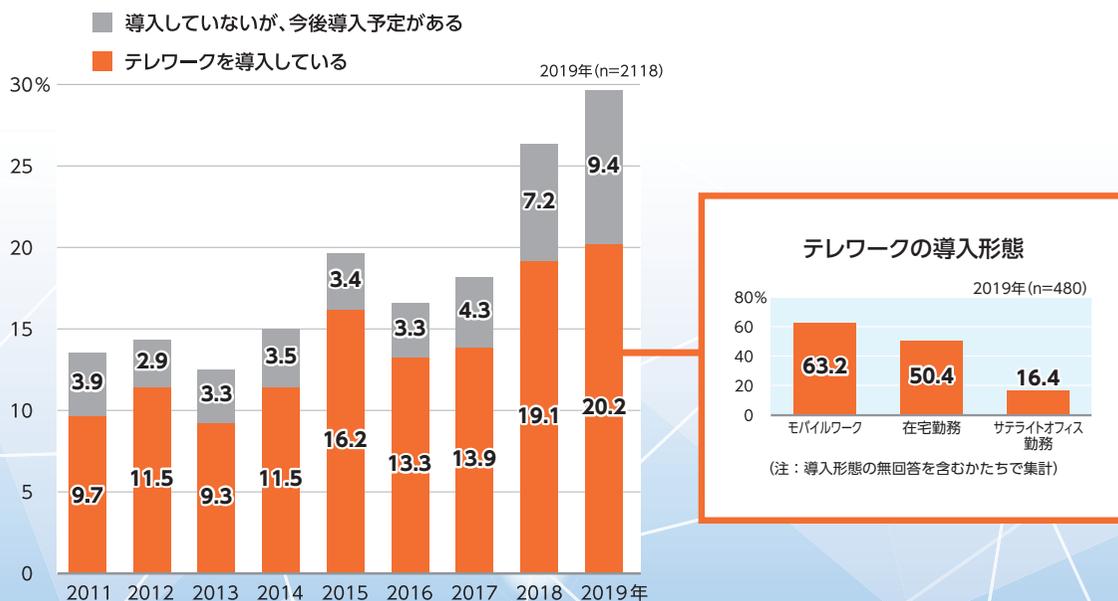
リモート

テレワーク時代の仕事と暮らし

新型コロナウイルスの長期にわたる感染拡大は、私たちの暮らしや仕事を大きく変えた。人との間隔を空けるようになり、職場から遠く離れた自宅から仕事をして、会議もオンラインで別々の場所から参加と、まさに「リモート」な生活を強いられるようになった。新しい生活様式はコロナ禍が収束した後もそのまま定着するのか、あるいは元に戻るのか。変化をチャンスに変えるには。

図表1 コロナ禍以前のテレワーク導入状況

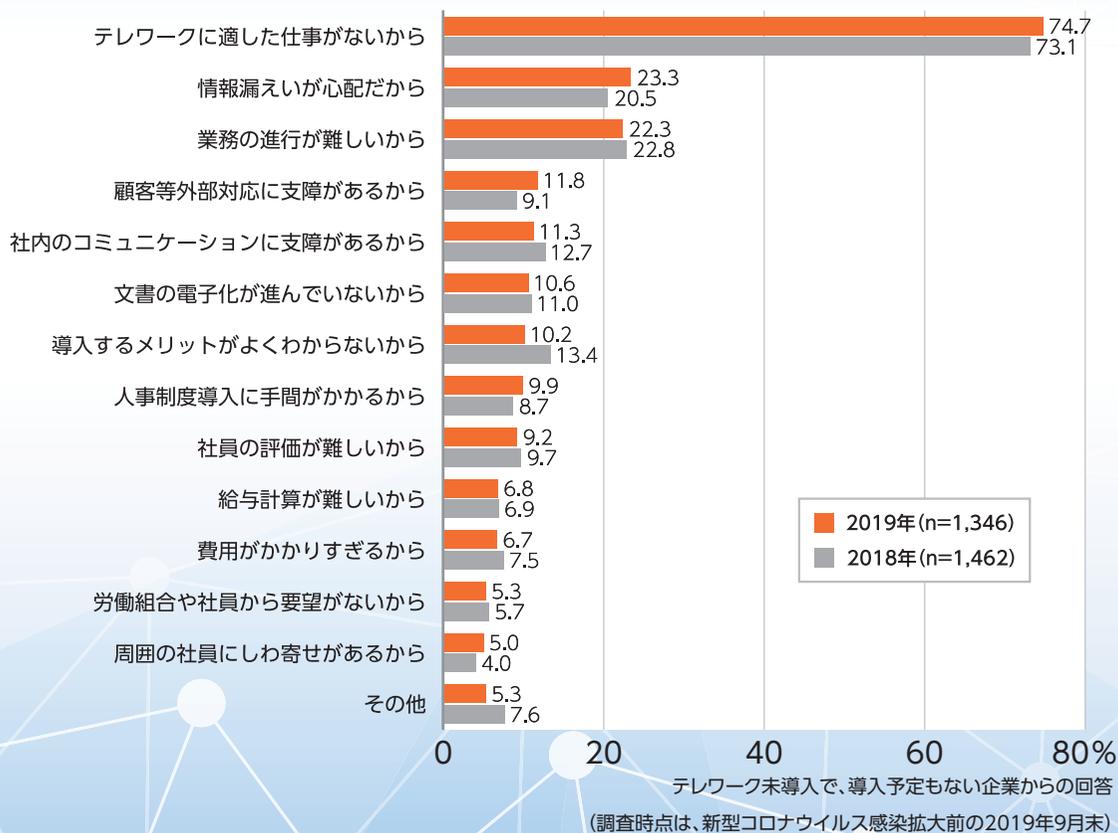
急速に広がったテレワーク。だが、総務省によると新型コロナウイルス感染拡大前の2019年9月末時点で導入している企業の割合は調査対象約2000社のうち約2割。「導入していないが、今後導入予定がある」を合わせても3割程度だった。



(調査時点は、新型コロナウイルス感染拡大前の2019年9月末)
出所：総務省「令和元年通信利用動向調査の結果」

図表2 テレワークを導入しない理由

導入しない理由（複数回答）で多かったのは、①テレワークに適した仕事がないから（74.7%）、②情報漏えいが心配だから（23.3%）、③業務の進行が難しいから（22.3%）など。テレワーク導入の壁となっていたこれらの課題はどこまで克服されただろうか。



出所：総務省「令和元年通信利用動向調査の結果」